

平成27年度行政事業レビューシート (総務省)

| | | | | | | | | |
|---|---|-------------------|--------|-------------------|---|------|------|----------------|
| 事業名 | 先進的ICT国際標準化推進事業 | | | 担当部局庁 | 情報通信国際戦略局 | | | 作成責任者 |
| 事業開始年度 | 平成24年度 | 事業終了(予定)年度 | 平成26年度 | 担当課室 | 通信規格課 | | | 課長 藤田 和重 |
| 会計区分 | 一般会計 | | | 政策・施策名 | V-1 情報通信技術の研究開発・標準化の推進 | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 総務省設置法第4条第74号 | | | 関係する計画、通知等 | 日本再興戦略(平成26年6月24日閣議決定) 世界最先端IT国家創造宣言(平成26年6月24日閣議決定) 第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成26年6月24日閣議決定) 知的財産推進計画2014(平成26年6月24日知的財産戦略本部) 情報通信分野における標準化政策の在り方(平成24年7月25日情報通信審議会答申) | | | |
| 主要政策・施策 | 科学技術・イノベーション、IT戦略 | | | 主要経費 | 文教及び科学振興、エネルギー対策 | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 我が国が技術力の面で他国と比べて優位性を有する先進的ICT分野における通信規格の国際標準化にあたり、単に原理を提案するだけでなく、当該通信規格を組み込んだシステムやサービスの実証実験を行い、その実用性を十分に検証した上で、説得性の高い提案を行うことにより、国際標準の獲得を推進し、我が国の国際競争力を強化する。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 知的財産戦略本部や情報通信審議会等において、標準化重点分野とされている「スマートグリッド」、「デジタルサイネージ」、「次世代ブラウザ」等の先進的な各技術分野において、コアとなる通信規格を含めたシステムやサービス全体について実フィールドにおける実証実験を実施するとともに、戦略的に国際標準化を推進する。 | | | | | | | |
| 実施方法 | 委託・請負 | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 385 | 385 | 309 | 0 | 0 | |
| | | 補正予算 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 前年度から繰越し | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 翌年度へ繰越し | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 予備費等 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 計 | 385 | 385 | 309 | 0 | 0 | |
| | 執行額 | 371 | 369 | 300 | | | | |
| | 執行率(%) | 96% | 96% | 97% | | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 26年度 |
| | 平成26年度までに15件の特許出願を行う | 特許出願数 | 成果実績 | 件 | 17 | 7 | 4 | |
| | | | 目標値 | 件 | 5 | 7 | 3 | 15 |
| | | | 達成度 | % | 340% | 100% | 133% | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 26年度 |
| | 平成26年度までに26件の研究発表を行う | 研究発表数 | 成果実績 | 件 | 17 | 17 | 33 | |
| | | | 目標値 | 件 | 5 | 8 | 13 | 26 |
| | | | 達成度 | % | 340% | 213% | 254% | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 26年度 |
| | 平成26年度までに13件の標準化提案を行う | 標準化提案数 | 成果実績 | 件 | 10 | 28 | 24 | |
| | | | 目標値 | 件 | - | - | 13 | 13 |
| | | | 達成度 | % | - | - | 185% | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> チェック | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------------|----------------|----------|--------|--------------|--------|--------|----------|
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度活動見込 |
| | 技術課題数 | 活動実績 | 件 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 当初見込み | 件 | 2 | 2 | 2 | - |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度活動見込 |
| | 研究者数 | 活動実績 | 人 | 42 | 42 | 42 | |
| | | 当初見込み | 人 | 42 | 42 | 43 | - |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度活動見込 |
| | 報道発表数 | 活動実績 | 件 | 1 | 4 | 3 | |
| | | 当初見込み | 件 | 1 | 3 | 2 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | 各年度の執行額／特許出願数 | 単位当たりコスト | 百万円 | 21.8 | 52.7 | 75 | - |
| | | 計算式 | 百万円/件 | 371/17 | 369/7 | 300/4 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | 各年度の執行額／研究発表数 | 単位当たりコスト | 百万円 | 21.8 | 21.7 | 9.1 | - |
| | | 計算式 | 百万円/件 | 371/17 | 369/17 | 300/33 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | 各年度の執行額／標準化提案数 | 単位当たりコスト | 百万円 | 37.1 | 13.2 | 12.5 | - |
| | | 計算式 | 百万円/件 | 371/10 | 369/28 | 300/24 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | 各年度の執行額／研究者数 | 単位当たりコスト | 百万円 | 8.8 | 8.8 | 7.1 | - |
| | | 計算式 | 百万円/件 | 371/42 | 369/42 | 300/42 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | 各年度の執行額／報道発表数 | 単位当たりコスト | 百万円 | 371 | 92.3 | 100 | - |
| | | 計算式 | 百万円/人 | 371/1 | 369/4 | 300/3 | - |
| 平成27-28年度予算内訳 (単位:百万円) | 費目 | 27年度当初予算 | 28年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | | 0 | 0 | 平成26年度で事業終了。 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | 0 | 0 | | | | | |

| 事業所管部局による点検・改善 | | | |
|----------------------------|--|---|---|
| | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 各種政府方針や総務省方針の中に本事業が位置づけられていること、本事業の着手にあたり外部有識者による事前評価を受けていることから、国民や社会のニーズを的確に反映していると認められる。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 本事業の推進により、我が国の産業の国際競争力強化等の実現につながり、その効果は広く国民に裨益するものであるため、国が実施する必要がある。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 国際標準化の果たす役割がますます高まり、従来にも増して戦略的な取組が必要とされる中、標準化を目指す通信規格について、単に原理を提案するだけでなく、当該通信規格を組み込んだシステムやサービスの実証実験を行い、その実用性を十分に検証した上で説得性の高い国際標準化提案を行っていくことが極めて重要となっており、本事業の優先度が高いものと認められる。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 本事業の外部への委託にあたり、実施希望者の公募を広く行い、提案内容について外部有識者からなる評価会において評価を行い、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保している。 |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | 標準化提案のための海外渡航費や会議開催費等、受益者にも相応の負担を求めており、受益者との負担関係は妥当であると認められる。 |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 当初の予算額内で適切に執行することにより、大半の項目で見込みを上回る実績が得られていることから、単位当たりのコストの水準は妥当と判断できる。 |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うとともに、経理検査補助業務を外部の監査法人へ依頼し、専門的知見も活用しながら経費の執行の適正性を確保している。 |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか | ○ | 外部有識者からなる評価会において、効率性を評価指標としており、実施希望者にコスト削減や効率化に向けた工夫を求めていることから、妥当であると認められる。 | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか | ○ | 成果実績に関して、見込みを上回る実績が得られており、十分な成果実績を得られていると判断できる。 |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | 本事業は、実施能力のある外部機関への委託により実施する。具体的な実施手段については、実施段階において、外部有識者による評価を受け、実効性の高いものとなるよう随時見直しを行っている。 |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 活動実績に関して、ほぼ見込みどおりの実績が得られており、十分な活動実績を得られていると判断できる。 |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | - | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | | |
| | 所管府省・部局名 | 事業番号 | 事業名 |
| | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | <p>○国際標準化の果たす役割がますます高まり、従来にも増して戦略的な取組が必要とされる中、標準化を目指す通信規格について、その実用性を十分に検証した上で説得性の高い国際標準化提案を行っていくことが極めて重要となっている。また本施策の推進により、我が国の産業の国際競争力強化等の実現につながり、その効果は広く国民に裨益するものであるため、国が優先的に実施すべき事業であると認められる。</p> <p>○支出先の選定にあたっては、実施希望者の公募を広く行い、研究提案について外部有識者からなる評価会において評価を行った上で、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保している。また、支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させているほか、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うとともに、経理検査補助業務を外部の監査法人へ依頼し、専門的知見も活用しながら経費の執行の適正性を確保している。</p> <p>○当初見込みを上回る成果実績が得られていることから、事業の有効性は認められる。</p> | |
| | 改善の方向性 | 当初予定通り平成26年度で事業終了。 | |

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

平成26年度をもって事業終了

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り終了

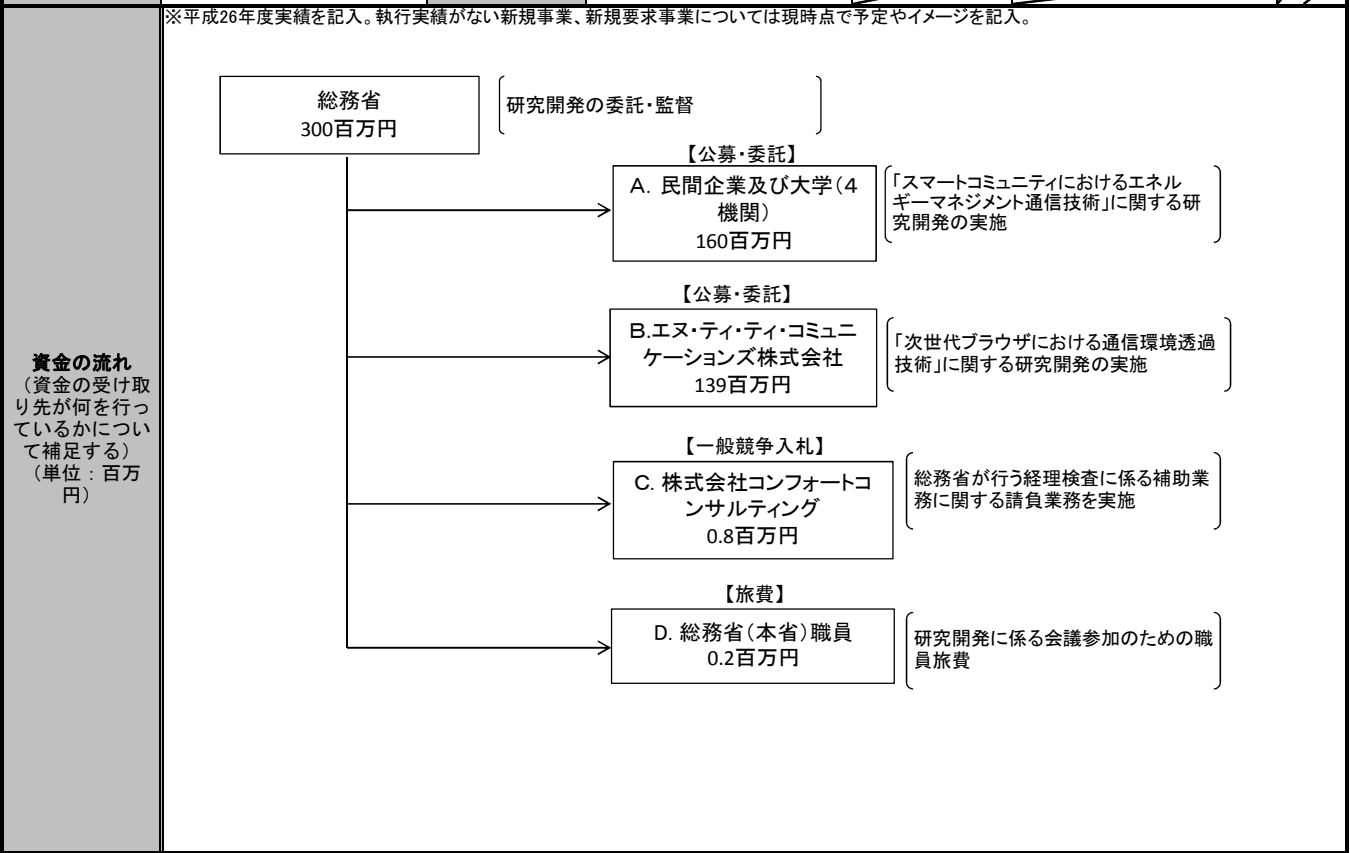
平成26年度をもって事業終了

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

| | | | | | | |
|--------|------|--------|----------|--------|----------|--|
| 平成22年度 | — | 平成23年度 | 新24-0021 | 平成24年度 | 新24-0007 | |
| 平成25年度 | 0060 | 平成26年度 | 0058 | | | |

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



| 費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載） | A.富士通株式会社 | | | E. | | |
|--|---------------------------|-----------------------|-------------|----|-------------|-------------|
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | その他 | 実証環境構築に係る外注費等 | 62.1 | | | |
| | 人件費・謝金 | 研究員費及び委員会運営に要した委員向け謝金 | 25.3 | | | |
| | 一般管理費 | 一般管理費 | 9 | | | |
| | 旅費 | 研究員の会議発表等に係る旅費 | 2.9 | | | |
| | 計 | | 99.3 | 計 | | 0 |
| | B.エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 | | | F. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | その他 | 実証環境構築に係る外注費等 | 113.4 | | | |
| 一般管理費 | 一般管理費 | 12.7 | | | | |
| 物品費 | 設備備品費 | 10.8 | | | | |
| 人件費・謝金 | 研究員費及び委員会運営に要した委員向け謝金 | 2.5 | | | | |
| 計 | | 139.4 | 計 | | 0 | |
| C.株式会社コンフォートコンサルティング | | | G. | | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | |
| 人件費 | 経理検査に関する費用 | 0.8 | | | | |
| 計 | | 0.8 | 計 | | 0 | |
| D.総務省(本省)職員 | | | H. | | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | |
| 旅費 | 研究開発に係る会議参加のための職員旅費 | 0.2 | | | | |
| 計 | | 0.2 | 計 | | 0 | |

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

| A. | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|---------------------|---|--------------|-------|-----|
| 1 | 富士通株式会社 | 「スマートコミュニティにおけるエネルギーマネジメント通信技術」に関する研究開発 | 99 | 公募・委託 | - |
| 2 | 沖電気工業株式会社 | 「スマートコミュニティにおけるエネルギーマネジメント通信技術」に関する研究開発 | 28 | 公募・委託 | - |
| 3 | 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 | 「スマートコミュニティにおけるエネルギーマネジメント通信技術」に関する研究開発 | 19 | 公募・委託 | - |
| 4 | 学校法人日本大学 | 「スマートコミュニティにおけるエネルギーマネジメント通信技術」に関する研究開発 | 14 | 公募・委託 | - |

| B. | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|-------------------------|-------------------------------|--------------|-------|-----|
| 1 | エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 | 「次世代ブラウザにおける通信環境透過技術」に関する研究開発 | 139 | 公募・委託 | - |

| C. | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|--------------------|---------|--------------|------|-------|
| 1 | 株式会社コンフォートコンサルティング | 経理検査の請負 | 0.8 | 6 | 88.9% |

| D. | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|-----------|---------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 総務省(本省)職員 | 研究開発に係る会議参加のための職員旅費 | 0.2 | - | - |

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック